

## 会議録（要旨）

会議名	香春町立小中学校再編推進審議会（第17回）
開催日時	平成30年6月25日（月）13時30分～14時30分
開催場所	香春町町民センター 会議室1・2
出席者	美谷委員、武井委員、大田委員、大野委員、大坪委員、松内委員、重藤委員、森委員、近藤委員、川上委員、城丸委員、藤本委員、牧委員、瀧川委員、岩谷委員、村上委員、河上委員、田中委員、宮原委員、山下委員、池口委員
欠席者	水野委員、北原委員
事務局	林 教育長、江藤 教育課長、種具 学校再編準備室長、脇山 教育課長補佐、椎葉 学校再編準備室庶務係長
会議次第	<p>1. あいさつ（事務局紹介）（司会進行：脇山補佐）</p> <p>2. 委嘱状交付 新任委員9名に机上配布</p> <p>3. 委員紹介（大野副会長から時計回り）</p> <p>4. 会長選出及び副会長あいさつ          ・事務局提案：美谷委員 → 委員の拍手をもって承認。          （美谷会長：席の移動～あいさつ）</p> <p>5. 経過報告（司会進行：美谷会長）          ・第14回学校施設整備部会（3/26）          ・第16回再編推進審議会（3/29）          ・教職員説明会 4月13日（金）～20日（金）          ・第3回住民説明会 4月22日（日）～26日（木）報告①（1-16P）</p> <p><b>【事務局の説明】</b>          ・参加者増のため、①学校の行事前等に学校での説明会開催を検討。          ②開催周知に努めるとともに、情報共有について留意していく。</p> <p>6. 協議          ①審議会の役割及び経過報告について 資料①</p> <p><b>【事務局の説明】</b>          学校再編を進めるにあたり、必要事項を審議・検討するために、平成27年6月に本審議会を設置。3つの専門部会で話し合った内容を本審議会に提案し、</p>

本審議会で協議を行い、意見（中間答申）をまとめて、教育委員会に提出するという流れ。

・ 第一次中間答申（平成27年11月24日）

9年間を通じた教育を行い、施設一体型の学校にすること、現在の勾金中学校地を建設候補地とすること、スクールバスを基本とした通学方法とすることが提案された。

・ 第二次中間答申（平成28年12月19日）

義務教育学校制度を導入すること、学年段階の区切りは開校時には6-3制とし、開校後、弾力的に検討していくことが提案された。

追加資料（完成予想図）について説明。

広報かわら7月号、校名募集チラシにも完成予想図を掲載する。

② 各部会委員名簿について 資料②（19-21P）

部会については、香春町立小中学校再編推進専門部会運営要領により、部長を校長にお願いしている。また、副部長も校長にお願いしている。

【委員の質問】

・ 設計については、一からやり直すのか。

【事務局の回答】

・ 出来るだけの要望は取り入れて、7月20日の実施設計に向かっている。

【委員の質問】

・ ということは、決定の設計となるのか。

【事務局の回答】

・ そういうことになる。

【委員の質問】

・ 以前トイレが少ないという話などがでたがそのままいくのか。

【事務局の回答】

・ 数が少ないのではないかという話が出ていた。低学年については、省スペースのデンを廃止してトイレの個数を増やす形で設計業者に依頼をかけている。

③ 平成30年度 専門部会スケジュールについて 資料③（22-27P）

（略）3つの専門部会とも今年度、重要事項について協議が始まる。

【委員の質問】

・ 通学・学校運営支援部会スケジュールのうち学校運営協議会について平成33年4月開校時に設置するとのことであるが間に合うのか。

できれば前年度からある程度、準備会などの形で進めていった方が良いのではないか。

**【事務局の回答】**

・おっしゃる通りだと思う。  
規則が必要。なるべく早く方向性を固めて、本部会及び教職員で情報共有しながら、平成32年度には進めていくことができたかと考えている。

**【委員の質問】**

・部会及び審議会のスケジュールはどのくらいの頻度になるのか。

**【事務局の回答】**

・部会は、今年度はソフト面について重要な内容を審議する必要があるため、一か月ないしは二、三か月に1回は開催をお願いしたい。  
・審議会は部会で審議した内容がある程度固まり次第、その内容を挙げて審議することとなるので、今年度2、3回の開催をお願いしたい。

**【委員の質問】**

・部会と審議会の関係性について。部会での審議において当初スケジュールが変更になる場合、都度、審議会を開催し了承をもらわなければならないのか。

**【事務局の回答】**都度審議会を開催し了承をもらうとなると効率がよくない。部会での決定内容を事後報告となるが審議会に上げるかたちで考えている。

**【委員の質問】**

・規定上は問題ないということか。

**【事務局の回答】**

・そういうことである。

**【委員の質問】**

・防犯面の設計などは専門家がみているのか。それとも、設計者が考えているのか。

**【事務局の回答】**

・設計会社がノウハウをもっている。学校施設整備部会には技術職員も入っており、その助言をもらいながら、また、文部科学省の指針も熟知して設計を進めている。

**【委員の発言】**

・防犯面や安全面はハード面も重要だが、ソフト面、運用面での対応が重要

となってくる。教職員にチェックしてもらうことが必要だと考える。

#### 4. その他

##### 【事務局の説明】

- ・各部会の内容について、本年度はソフト面についての協議が中心となる。
- ・本日の部会の開催時間について。本審議会が早く終了したため、当初15時30分開始を繰り上げて、15分休憩後の14時45分から開始する。